

1994年8月24日第三種郵便認可

SST丸

発行 ならしの地域で生きる会

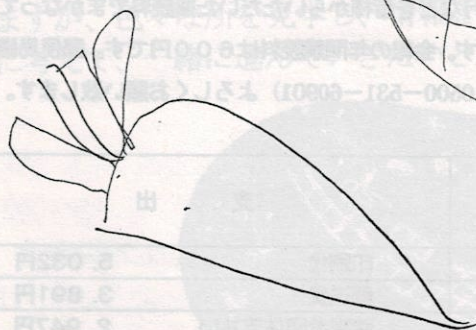
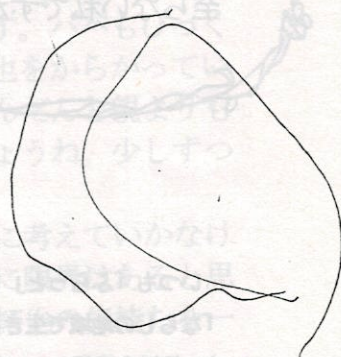
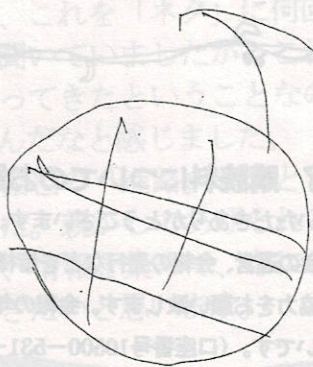
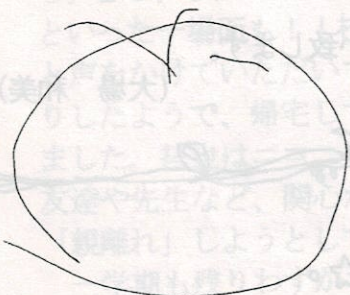
ふらっと

ならしの地域で生きる会は、
障害のある子も、障害のない子も
共に地域で学び、働き、
生活できることを願い
活動を行っています。

NO.31

も く じ

- ・おしゃべり会に参加して 2
- ・修学旅行に行きました 3
- ・合同総会2004を行いました 4
- ・ノーマライゼーション相談事業セミナーのお知らせ 5
- ・新聞記事より 6



た く や

出	
FIS0 2	
FIS0 3	
FIS0 4	
FIS0 5	
FIS0 6	
FIS0 7	
FIS0 8	
FIS0 9	
FIS0 0	

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/narashino/index.htm>



修学旅行に行きました

5月13日から15日の二泊三日、拓也は修学旅行に行きました。拓也がとにかく楽しみにしていたことは「新幹線」に乗ること！スキーに行くときに乗った「新幹線」に乗れるとあって、何日も前から修学旅行に持っていくバックを眺めつつ「新幹線！！電車！」と1日に何回も言っていました。しおりの中の「京都、奈良」の観光スポットを見ながらも、やはり乗り物のことを考えているのは拓也らしいというか…

旅行中はあいにく雨が続き、予定コースの変更などもあったそうですが、拓也は学校側のきめの細かい配慮のおかげで、本当に楽しく参加できました。家族へのお土産の他にも、自分のものもたくさん買っており、中には普段拓也が選ばないような、明らかに友達に勧められて買ったのかなと思われる物もあって、見ていてほほえましい気持ちになりました。

旅行があまりに楽しかったせいか、駅まで迎えに行ったパパに「さようなら」をし、（帰りたくないという意思表示だったようです）先生から離れないといった一場面も！！校長先生から「拓也、旅行は終わりだよ。家に帰ろう」と声をかけていただいて、ようやく帰る気になったそうです。パパもびっくりしたようで、帰宅してから、これを「ネタ」に何回も拓也をからかっていました。拓也はニコニコして聞いていましたが、これもだんだんと親よりも友達や先生など、関心が広がってきたということなのでしょうね。少しずつ「親離れ」しようとしているんだなと感じました。

一学期も残りわずかです。拓也の「進路」のことも真剣に考えていかなければならない時期になりました。親がしてあげられることに限界はあると思いますが、色々な所を見学し、情報を集めて、なによりも拓也の気持ちを一番に考えて、一緒に進んでいきたいと思います。

（大原 由加里）

